

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和 4年 11月 30日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社 吉本組
所在地	〒045-0001 北海道岩内郡岩内町字大浜 89 番地 6
代表者役職・氏名	代表取締役 吉本貴昭
担当者連絡先	電話：0135-62-0632
	メール： KK-yoshimoto@jiysmt.co.jp
ウェブサイトURL	yoshimotogumi.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は、昭和23年(1948年)創業の総合建設業者で、昭和23年岩内港防波堤工事を請負って以来、岩内港、小樽港、石狩湾新港をはじめとする港湾漁港の海洋土木工事に携わり、今日まで社会資本整備の一翼を担ってまいりました。</p> <p>令和3年には、新たに船舶(起重起船)を取得後改造し、多様な港湾工事に対応できる装備を有し、環境対策・安全対策を施した多目的作業船を保有しています。</p>
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	自社保有作業船の活用と作業前点検・整備の徹底で、海洋汚染事故防止を図る。	海洋汚染事故ゼロ 〔現状〕 1件/年間 〔目標〕 0件/年間
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	意識改革と業務の効率化、合理化、生産性向上により時間外労働時間を短縮する。	時間外労働時間 〔現状〕 平均 54.3 時間/月 〔目標〕 平均 30 時間/月
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	本社電力消費量の削減を目指す。	〔現状〕 使用量 57,014kwh 〔目標〕 使用量 50,000kwh

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ハラスメント禁止に関するポスターの掲示や講習会への参加により一人一人の意識を高めている。				5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	北海道働き方改革推進企業(シルバー企業認定)								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	労働安全衛生マネジメントシステム(ISO45001)の取得			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	メンタルヘルスチェックと、健康面に関する情報を提供するなど健康維持の対策に取り組んでいる。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	北海道女性の活躍推進企業、北海道あつたかファミリー応援企業の認定					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・職務に応じた外部講習会に積極的に参加させている。 ・毎年、社内研修会(工事報告会)を実施し、情報共有を図っている。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを策定している。 ・インフルエンザワクチン接種の補助を行っている。			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・北海道グリーン・ビズ「優良な取組」認定取得し、ゼロカーボンチャレンジャーへ登録。 ・本社・現場事務所で出たゴミは、リサイクルできるもの、できないものに分別してから処分している。										11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	自転車車両CO2排出量と電力使用量の把握を行ない、低減に努めている。								7.3				13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・本社施設の照明をLEDとしている。 ・保有船舶に国際海事機構(LMO)のNOX環境エンジン(2次規制)を搭載している。								7.2 7.3				12.4	13.3				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	国有林収育林事業に参加(7.3h)し、森林公収育林により水源かん養、山地保全に貢献している。					6.6									15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	環境マネジメントシステム(ISO14001)の取得			3.9		6	7				12	13.3	14	15				
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している											12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	現場で太陽光パネルを設置して再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。						7.2					13						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる											12.2	13	14	15				
製品・サービス	21 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			3.9								12.4							
	22 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	品質マネジメントシステム(ISO9001)の取得									9								
	23 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる						6					12	13	14	15				
	24 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	25 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・近隣自治体への寄附を継続して行っている。 ・地元中学・高校生のインターンシップを毎年行っている。 ・交通安全活動を積極的に行っている。				4					9	11	12		14	15		17	
	26 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・地域のイベントへの協賛や、福祉施設への寄附寄贈活動を続けている。 ・2001年より、毎年地域の清掃活動を実施している。				4						11			14	15		17	
	27 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している									8	9	11	12	13					

(様式第4号)

令和6年1月11日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 北海道岩内郡岩内町字大浜 89-6

名称： 株式会社 吉本組

代表者： 吉本 貴昭

登録年月日： 令和4年12月23日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	自社保有作業船の活用と作業前点検・整備の徹底で、海洋汚染事故防止を図る。	海洋汚染事故ゼロ 〔現状〕 1件/年間 〔目標〕 0件/年間	2023年12月末日現在 海洋汚染事故 0件
□環境 ✓社会 ✓経済	意識改革と業務の効率化、合理化、生産性向上により時間外労働時間を短縮する	時間外労働時間 〔現状〕 平均 54.3時間/月 〔目標〕 平均 30時間/月	2023年1月～2023年12月 時間外労働時間 平均 36.0時間/月
□環境 □社会 ✓経済	本社電力消費量の削減を目指す。	〔現状〕 使用量 57,014kwh 〔目標〕 使用量 50,000kwh	2022年12月～2023年11月 本社電力消費量 64,407kwh

(様式第4号)

令和7年 1月14日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 北海道岩内郡岩内町字大浜 89-6

名称： 株式会社 吉本組

代表者： 吉本 貴昭

登録年月日： 令和4年12月23日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	自社保有作業船の活用と作業前点検・整備の徹底で、海洋汚染事故防止を図る。	海洋汚染事故ゼロ 〔現状〕 1件/年間 〔目標〕 0件/年間	2024年12月末日現在 海洋汚染事故 0件
□環境 ✓社会 ✓経済	意識改革と業務の効率化、合理化、生産性向上により時間外労働時間を短縮する	時間外労働時間 〔現状〕 平均 54.3時間/月 〔目標〕 平均 30時間/月	2024年1月～2024年12月 時間外労働時間 平均 32.0時間/月
□環境 □社会 ✓経済	本社電力消費量の削減を目指す。	〔現状〕 使用量 57,014kwh 〔目標〕 使用量 50,000kwh	2024年1月～2024年12月 本社電力消費量 62,572kwh

(様式第4号)

令和8年1月9日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 北海道岩内郡岩内町字大浜 89-6

名称： 株式会社 吉本組

代表者： 吉本 貴昭

登録年月日： 令和4年12月23日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	自社保有作業船の活用と作業前点検・整備の徹底で、海洋汚染事故防止を図る。	海洋汚染事故ゼロ 〔現状〕1件/年間 〔目標〕0件/年間	2025年12月末日現在 海洋汚染事故 0件
□環境 ✓社会 ✓経済	意識改革と業務の効率化、合理化、生産性向上により時間外労働時間を短縮する。	時間外労働時間 〔現状〕平均54.3時間/月 〔目標〕平均30時間/月	2025年1月～2025年12月 時間外労働時間 平均27.34時間/月
□環境 □社会 ✓経済	本社電力消費量の削減を目指す。	〔現状〕使用料57,014Kwh 〔目標〕使用料50,000Kwh	2025年1月～2025年12月 本社電力消費量66,174Kwh